

### 【事例発表3】（北筑後地区）

～今年度の活動目標への取り組み～

大刀洗町老人クラブ連合会

女性部長 谷口由美子

#### 1. はじめに

大刀洗町は、広大な筑後平野が広がる美しい田園地帯で、豊かな自然と歴史ロマンのあふれる町です。

平成27年3月末現在で、町の人口15,511人で、世帯数は5,061世帯です。その内、65歳以上の人口は3,878人で、高齢化率は25%となっており、独居世帯・高齢者夫婦世帯が年々増加しているのが現状です。

単位クラブは4校区に27老人クラブがあり、現在、会員数は2,800名で加入率は72.2%です。

#### 2. 平成27年度の活動目標及び取り組み

##### ① 仲間作りを推進して会員を増やそう・・・仲間づくり

全老連や県老連からも依頼されている会員増への取り組みについて

各単位老人クラブによって会員の入会率は大きく違います。昔から住んでいる方が多い地域は入会率が高く、新興住宅地域では入会率は低いです。地域によって人口の割合が違うため、入会率に差があると思いますが、65歳になったら老人会に入会しようと言う意識は低いです。又、男性が多いところ、女性が多いところ、大きな違いがありますが、入会したら役が回ってきて嫌だからと入会を断る方が多いのも事実です。

そんな中で、今年度の4月から介護保険の改定に伴い、老人クラブへの連携強化が求められています。そこで、今年は各単位クラブ毎に、それぞれの行政区に入会誘いのチラシを回覧にして回すようにしました。又、個別に入会をお願いして、少しでも老人クラブへの協力とご理解をしていただけるように努め、仲間作りに取り組んで参ります。

##### ② 地域高齢者の健康づくり・介護予防活動・・・健康づくり

「出来る限り、自分の家で住み続けたい」という多くの高齢者の願いを叶える為にも、自らの健康を維持させることが大切です。今年度より、大刀洗町の健康福祉課が各公民館での健康体操を呼びかけており、依頼する老人クラブが増えています。又、社会福祉

法人 希望の丘 在宅介護支援センターが独自で「健康で自分らしい教室」を各単位老人クラブに開催を呼びかけています。これらの健康づくりの取り組みを活用して、各地区毎に健康づくりを推進し、介護予防へと繋げたいと思っています。

### ③ 在宅高齢者やその家族を支援する友愛活動・・・ボランティア活動の推進

今年度の4月より、介護保険制度の改定に伴い、市町村毎に独自の新地域支援事業を実施することになりました。この事業を実施するには老人クラブとの連携は不可欠です。各地区の独居老人や高齢者夫婦のみの世帯への見守りや訪問を行う友愛活動の充実を図るために、今年度は高齢者相互支援活動員の研修会回数を増やし、訪問の現状や問題点、又、独居老人の方が、何に困っているか等を伺ったり、実績報告のまとめなどを、交流会方式で行うようにしています。又、活動員だけに任せず、会員一人一人が見守り隊だったり、お手伝い隊になれるように会員一人一人の持っている力を発揮できるように取り組みたいと思っています。

### 3. おわりに

老人クラブの会員は、人生の荒波にもまれて強くたくましく生き抜いてこられた方々の集まりです。又、それぞれ、現役時代の仕事を極めてこられたエキスパートの集団でもあり私は老人クラブを賢人クラブと名称を改めてもらいたいと思っています。会員一人一人の持っているタレント性を生かして、今年度は大刀洗町老人クラブ連合会で、新地域支援事業の行動提案に具体的に取り組んで行きたいと思っています。